

みなさんが必要とする資料や情報の探索をサポートするレファレンス・サービスは、図書館2階メイン・カウンターと3階参考カウンターで受け付けています。今回、最近の質問とその回答をご紹介します。

調査ツールとして、数多くのデータベースが登場します。図書館では各種データベースを提供していますのでぜひご利用ください。データベースの種類や利用方法については、札幌大学図書館ホームページ[データベース窓口]でご確認ください。

質問 1 明治、大正、昭和前期に、石油の代替として、植物から無水アルコール(エタノール)などを精製しようとしていたことに関する文献(特に北海道)を探しています。

植物を原料としたエタノールはバイオエタノール(またはバイオマスエタノール)と呼ばれ、注目を集めている燃料です。

①戦前の新聞記事は、[朝日新聞戦前紙面データベース(CD-ROM)]や[読売新聞:明治・大正・戦前Ⅰ・戦前Ⅱ(CD-ROM)]や[神戸大学附属図書館新聞記事文庫 <http://www.lib.kobe-u.ac.jp/sinbun/index.html>]などを検索すると、次の記事がヒットします。

●「馬鈴薯の乾燥法で製造経費が大節減(アイヌの慣習に学ぶ)」国民新聞 昭和13年6月9日

●「動植物の油がガソリンに成る」国民新聞 大正12年4月9日

●「お芋の切りッパシで自動車や飛行機が動く時代来る」大阪朝日新聞 昭和10年11月28日

②雑誌論文は、[国立国会図書館 雑誌記事索引 <http://opac.ndl.go.jp/>]やデータベース[MAGAZINEPLUS]などを検索すると、次の資料がヒットします。

●石川不二夫「バイオエタノール産業を興した明治・大正・昭和の人達」『近代日本の創造史』4号2007.9

③図書では、通商産業省基礎産業局編「アルコール専売事業五十年史」を所蔵しています。

質問 2 JRタワー開館後の道内百貨店の店舗別売上高の推移を調べたい。

①「北海道新聞」「日本経済新聞」等に掲載されています(月計は毎月20~25日ごろ、年計は1月20~25日ごろ掲載)。新聞記事データベースで、「主要百貨店」「売上高」などをキーワードに検索してください。

②日経MJが実施する全国の百貨店調査の結果が、毎年8月15日頃、「日経MJ(流通新聞)」に掲載されますし、その後「日経MJトレンド情報源」にも収録されます。データベース[日経テレコン21]でも検索できます。

質問 3 エジソンに関する文献をOPACで検索したが、試験課題なので全部借りられている。

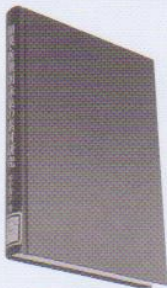
「世界伝記大事典」などの事典にも詳しく載っています。そのほか[WebcatPlus <http://webcatplus.nii.ac.jp/>]やデータベース[MAGAZINEPLUS]を検索して、当館で所蔵している文献を探してください。検索の結果、次の資料を所蔵しています。

●「アメリカの文化:現代文明をつくった人々」(亀井俊介編)

●「電力の歴史2」(T・P・ヒューズ著)

●「誰も書かなかった発明王 エジソン秘話」『文芸春秋』72巻12号1994.9

和漢・新撰朗詠集の素材研究 [研究叢書:374]



田中幹子 著
和泉書院
2008.2

本書は、拙書『和漢朗詠集とその研究』の続編である。『和漢朗詠集』『新撰朗詠集』所収詩歌の歌語や説話が、漢籍を源としながら、いかに日本の変容を遂げたかを論じたものである。

第一章では、「霞」「香」が日本と中国では詠み方にもどのような違いがあるかを明らかにし、その中国との差異を日本の詩歌がどう変容させ、受容していったかを考察した。さらに、『万葉集』で詠まれていた「鶉」が王朝文学にどう取り入れられたか、或いは『法華経』「化城喻品」が和歌にどのように詠まれていったか、

といった素材面から考察した。

第二章では、「老馬之智」説話・七夕説話・王昭君説話・「劉阮天台」説話などの著名漢籍が和歌や物語にどのように受容されたか、どう変容されたかを明らかにし、日本の美意識を見出した。

両章ともに受容の過程の軸に『和漢朗詠集』『新撰朗詠集』を据え、両集の文学史的意義つけも試みた。
[919.3 || Ta84]

(文化学部准教授 田中幹子)